

青雲



8号 2006.3

発行人／(社)島根県建設業協会出雲支部青年部会

「青雲」

題 字

島根県知事 澄田信義氏



“風に向かって”

～ confront the head wind ～

その昔、順風満帆なFollowの風にあおられ、この建設業界は現在の基盤や社会システム構造を確立させた。しかし今、何も考えず、ただ快晴の天空が我々を抱いてくれる時代は終り、新時代への転換期を迎えている。この雄大な風車は、いかなる風をも受けとめ大きく回り続けようとしている。また、その風を自らの力として蓄えようとしている。

我々青年部の若い力は、これからの建設業を取り巻く様々なAgainstの風に対して、この風車の如く立ち向かっていく“志”が必要ではないでしょうか。

青年部メンバーにこの志あれ!!

(社)島根県建設業協会出雲支部青年部会 広報委員会



CONTENTS

目次

巻頭言/「感謝」	①
(社)島根県建設業協会青年部会長 広戸 修	
平成17年度卒業生より一言	
.....ヒカワ工業(株) 福田美樹	②
.....(有)伊藤工事 伊藤康孝	③
清掃活動をとおして	④
出雲土木建築事務所 今岡徹也	
建設業の新分野進出事例報告	⑤
(有)丸共工務所 原 嘉昭	
平成17年度事業レポート	
●『国道まるごとクリーンアップ作戦』に参加して.....(有)森山組 曾田広幸	⑥
●『視察研修』に参加して..... 宮茂建設 宮本晃志	⑦
●『島根県工事成績評定要領に関する提言書』..... 経営研究委員会	⑨
平成17年度新入会員紹介	⑪
ちょっと一息 ～ある日のブログより～	⑪
(社)島根県建設業協会出雲支部青年部会組織図	⑫
編集後記 <広報委員長/山崎章弘>	⑬

「感謝」



(社)島根県建設業協会青年部会
部会長 広戸 修

私の部会長職、そして会員としての任期も残り後数ヶ月となりました。この数年間楽しく活動をさせていただきました。三名(四代)の部会長に従い、そして力不足ではありましたが五代目の部会長までさせていただき、大変光栄でありました。

設立(入会)当時は青年部として、体を動かし汗を流して、われわれ建設業界のイメージアップと会員相互の親睦、そして勉強会と意見交換を通じての技術力の向上を目指して意気揚々と出発しました。『国道まるごとクリーンアップ作戦』は出雲支部から発信し、そして全県レベルまで意思統一し県下一斉の活動となりました。加えて出雲支部は県の職員の方と一緒に、県道のクリーンアップも行いました。会員相互の親睦といたしましては数多くの酒席を計画し参加し、普通の付き合いでは接することのない会員と楽しく話をさせていただきました。また、研修旅行を通じて会員の方々と昼も夜も行動を共にし「同じ釜のめし」という感じで、より一層のつながりと思い出をいただきました。

しかし、勉強会の内容については大きく変化いたしました。アナログの時代からデジタルへ、そして先代から受け継いだ「義理」と「人情」、「地域貢献」…。漢字で書くと妙に堅苦しいですが日本人の本質とも言える言葉が、やれ「グローバル」だとか「スタンダード」だとか「マニュアル」だとか、日本語に訳してもアバウトにしか理解できないものになり、安易にEnterをクリックするとエラーが出る時代になってしまいました。しかしながら我々が作る「物」は過去にも未来にも自分の手で土を触り、自分の目で出来映えを判断し、自分の足で現場を歩く。このことは不変であり、この「物」を作ることに誇りを感じ、また日本の経済の根底を成しているのは我々であると自負すると共に、未来永劫絶えることのない業種であると信じております。

最後になりましたが、我々青年部会を支えていただいております支部長をはじめ親会の皆様方と協会支部の職員の方々に心から感謝の意を表し、巻頭の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。



平成17年7月25日 研修先の釜山貿易会館職員の方と

青年部会の活動を振り返って



ヒカワ工業(株) 福田 美樹

当出雲支部青年部会の誕生以来、8年間の長い間、諸活動に参加をさせていただきました。青年部会での活動を振り返ってみますと、設立当初と最近では大きく変化が見られる様に思います。最初はあまり顔も分からないメンバーの集まりですので、会員の交流が主でありましたが、数年前からの公共事業の削減に伴い色々な制度改正が行われ、変革の波に襲われ、それに追われる様な形の活動展開になりました。不肖、私も2年間経営研究部門の副部会長として、広戸部会長らをはじめ役員・会員の皆様に温かく助けて頂き卒業を迎えることができました。

この青年部会は私にとって大変貴重な経験であり、大きな勇気と力を貰った財産となりました。特に3名(H氏・Q氏・I氏)の方とは、何物にも代え難い「信頼♥(^o^)の輪」が広がり、そして「一儲け」でなく「人儲け」をさせて頂いたと思っております。ほんとうに有り難うございました。

青年部会員のみなさん!! この会ほど、自己研鑽のできる所はほかにないと思います。また変わりゆく業界にアンテナだけは鋭く立てて、共にごんばりましょう。どうか「青年部会を愛してください」。そして、たくさんのご事を「学んでください」。

どうぞ、今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。

『北の～酒場通りには～』フォー!



平成16年7月28日
“国道まるごとクリーンアップ作戦”



平成14年11月1日 “しまね建設技術展2002”での一コマ



青年部会の活動を振り返って

(有)伊藤工事 伊藤 康孝

青年部会発足以来、お世話になりました。

その中で感じた事は、有能な人たちがばかりだなということで、それは年を重ねる毎に確信しました。そんな意味で、青年部会へ参加した事は大変有意義でした。

活動の中では、国道の清掃が何より印象に残っていますが、初年度のごみの多さにはびっくりでした。そして、ごみの多い場所が毎年同じ場所だったのも、人間のごみを棄てる意識は変わらないという勉強にもなりました。

これまで、色んな団体の青年部に所属させていただきましたが、この青年部会が一番活発に活動されていたと思います。ボランティア活動、研修活動と、役員の皆さんの努力には、ただ言われるままに出席していた私にとって、感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも、今の雰囲気を大切に活動していただく事を希望しています。

ありがとうございました。



平成11年11月18日 “土木の日”ルート9クリーンアップ作戦にて（後列右端）



平成11年10月3日 「ゆうあいピック」にボランティア参加（後列右から5番目）



「清掃活動をとおして」

出雲土木建築事務所 維持グループ 今岡 徹也

平成17年7月20日17時15分、業務終了時刻とともに島根県建設業協会出雲支部青年部会と出雲土木建築事務所の有志による清掃作業が開始されました。建設業協会と出雲土木の職員が共同でこのような作業を行うのは、おそらく初めてではないでしょうか。

この日は水曜日で、出雲土木職員はノー残業デーであったためほぼ全職員が集まることとなりました。ノー残業デーにこのような活動を行ったのも、おそらく初めてだったでしょう。

さて、清掃作業はというと、国道184号・出雲大社線を中心とした県管理の路線で行いました。ご存知のように、出雲市では、「飲料容器及び吸い殻等の散乱防止に関する条例」（通称：ポイ捨て禁止条例）が制定されているため、“当然ゴミなんて落ちてないだろう”とまでは思っていませんでしたが、そう多くはないと予想していました。しかし、実際私が歩いた区間では、タバコの吸



殻がかなり多く目に付きまして。車道側にも歩道側にもあったので、車からも歩行者からも投げ捨てがあるのだと思います。普段、車での移動がほとんどであるために見えていないだけで、ゆっくり歩いてみて、改めてゴミの投げ捨てがなくなっているわけではないと感じました。

また、この作業のために歩いてみると、車に乗って見るのとは違う視点で道路を見ることができました。当たり前のことですが、歩道の路面状況等は、実際に歩いたり自転車に乗ったりしてみないと分からない部分があると思います。路面の凸凹であったり取り付けの段差であったり。ただ、自分が道路管理をする立場でありながら、今まで歩道をゆっくり歩いて見る機会はありませんでした。やはり車に乗っては見えないことや感じられないことがあることに、改めて気づかされました。

今回の活動では、清掃作業をするなかで、個人的には道路管理者として、ゆっくりと道路を見るいい機会だったと思います。今後の業務に生かしていけたらと感じています。



建設業の新分野進出事例報告



「農業部門への参入」

(有)丸共工務所 原 嘉昭

長引く不況、工事高の減少・・・、どうにかしなくてはという焦燥感・不安の中で18年前になくなった先代が言っていた「これからの工事は八掛けで少なくなる。そうすると農業しかない。」という言葉思い出しました。

忙しくて荒らしていた田んぼ・・・、これを利用して農業を始めたら・・・？

藁をもつかむ気持ちで異業種事業参入の説明会に出掛け、相談したのが始まりでした。

～新事業の概要～

事業の種類	農業(菌床椎茸、青葱)	
新会社の設立	平成16年8月 (有)ティアーズファーム設立	
経営規模	菌床椎茸 32,000個	青葱 23a
従業員	農業部門 3名	
年商目標	菌床椎茸 22,000千円	青葱2,500千円
投資額	40,000千円	

～現在の状況～

平成17年1月	椎茸工場・青葱ほ場完成
2月	菌床を2,800個
3月	菌床を2,800個
4月	菌床を2,800個
5月	菌床を2,800個
5月中旬	2月に入れた菌床が収穫 青葱を植え付け アスパラの苗1,300本植え付け
6月以降	毎月菌床を2,800個 搬入



工場内部(椎茸菌床)

5月の連休頃から椎茸が取れ始め、段取りよく量が増大すると思いきや、湿度・温度の調整、明かりの調整となかなか思うように運ばず、悪戦苦闘の毎日でした。それでも昨年2月の菌床搬入から1年が過ぎ、暑さ・寒さも1回ずつ経験したことで、少しずつですが要領もつかめてきました。これからもっと頑張って良い椎茸にしたいと思います。

『国道まるごとクリーンアップ作戦』に参加して

(有)森山組 曾田 広幸



私たち(社)島根県建設業協会青年部会員で県下一斉に『国道まるごとクリーンアップ作戦』を実施したのは、炎天下の平成17年8月2日でした。9時に「道の駅湯の川」へ集まり、松江支部・出雲支部合同での出陣式を行った後、各班それぞれの持ち場へと移動して清掃活動を開始しました。

私の清掃箇所は、国道54号線の木次合庁付近から出発して加茂町のラ・メール手前交差点までの範囲でしたが、歩き始めてすぐに汗ばんできました。そしてこの先の道のりを考えるとさらに汗が噴き出すようでした。やはり全線に渡って多いのはタバコの吸殻です。おそらく車からの投げ捨てなのでしょうが、喫煙ドライバーのマナー向上を願うところです。続いて多いのは空き缶・食べ物の紙くずといったところでしょうか。

清掃中の国道54号線は大型車両も一般車両もひっきりなしに通行していました。近隣住民の方だけでなく県外ナンバーの車両も多く見受けられました。近年では三刀屋インターができた影響でしょうか、54号線の沿線には飲食店の出店が増え10年前と比べるとずいぶん様変わりしたように思えます。人の流れが多くなるにつれて道路のゴミの量も多くなる...? そうだとしたら寂しい話です。

いずれにしても国道54号線および9号線が、この出雲圏域における重要な流通の要であり地域経済の支えとなっていると感じました。また一般市民の生活の足として、県内のみならず県外へのアクセス道路として今後もますます重要度は増すものと思います。そうした生活に密接した場所に無神経に捨てられたゴミは腹立たしさを感じさせました。



清掃区間の終わりに来るころには各自が手に持つ袋にはゴミがたくさん入り、汗だくの体に更に追い討ちをかけるようでした。

公共事業削減など建設業に携わる者を取り巻く情勢はかなり厳しいことばかりですが、地域社会の一員として担う役割はまだ大きいと思います。こうした地道な活動を続けていくことにより業界全体のイメージアップにつながれば幸いです。





『視察研修』に参加して

宮茂建設 宮本 晃志

平成17年7月24日から3日間、われわれ出雲支部青年部会は韓国・釜山へと視察研修に出かけてまいりました。今回の研修の趣旨は、近年めざましく拡大を続けている浜田 - 釜山間の貿易事業に着目し、われわれの課題である新規事業進出における選択肢のひとつとしてこれを考え、その実態を視察するというものであります。



いささか飛躍した発想と思われるかもしれませんが、最近新聞紙上等でもたびたび掲載されている奥田組（本社：松江市）さんの韓国との取引に学び、最近右肩上がりでも活発化しているLCCL（小口貨物）貿易を活用して資材（建設資材を含む）や物品を輸出入することの優位性を検討してみようということで計画されたものです。

当部会からは18名の参加でしたが、趣旨に賛同され、他支部からも4名のご参加があり、浜田港振興会 横田専務のご案内のもと総勢23名での視察となりました。（今回の視察では、趣旨にご賛同いただきました浜田港振興会から全面的なご支援を賜り、特に同会の横田専務には研修内容のコーディネートから現地機関との連絡・調整に至るまで、多大なるお世話をいただきました。紙面のうえからではございますが、改めまして厚く御礼申し上げる次第であります。）

さて今回は、博多から高速船ビートルで釜山港へ向かうこととなりました。乗り込んだ船中には韓国の人たちの姿が数多く見られ、両国の親密な交流事情が伺えます。（高速船ビートルは一日に



高速船ビートル

4～5便が就航。利用客も毎年増加しているとのこと。）

高速船は玄界灘をすべるように北上し、対馬を越えるとすぐに朝鮮半島の山並みが浮かび上がってきました。到着までの所用時間は僅か2時間55分。本当に近いお隣の国であります。（博多から釜山へ行くまでの時間よりも、バスでの出雲～博多間の方がよっぽど長く、疲れしました。）本日のホテル到着は夕刻となり、焼肉での夕食を終えると疲れはもうピー



海から見た釜山市内

クに…。私はそのままグッドナイトでした（…表向きは）。

翌25日、釜山港貿易関係者（韓国側）から、釜山湾内をクルージングしていただきながら研修を受けました。これは横田専務の人脈のおかげで、一般人ではめったに出来ない経験をさせていただいたものです。目の前には巨大な貨物船やタンカー、そして大型のクレーンが威容を誇っております。へえ～…。（釜山港は軍港もかねているので戦艦も見えます。）



港湾施設の研修を受ける（船内にて）

釜山港のコンテナ取扱量は2000年には世界第3位となり、韓国におけるコンテナ貨物量の94%以上を占めているとのこと。さらに韓国政府は2004年11月に、釜山新港および光陽港を「港湾自由貿易地域」に指定し、「自由貿易地域」に入居する外国企業については無関税・税金減免・賃貸料割引などの各種優遇措置を付与したことから、その国際競争力はますます強化され、アジア有数の

貿易港としてめざましい発展を続けているとのこと説明でありました。へえ～…。

このたびの研修では、「我々の現在の知識では、早急には何ともしがたいなあ～」とか、「ステージが大きすぎて実感が湧いてこないなあ～」との思いが先行しがちでしたが、全くゼロからスタートされた奥田組さんの歩みを伺ったり、貿易人として世界を相手にしてこられた横田専務の「何でも商売の種になるよ！」というお言葉からは、困難に立ち向かう勇気を与えていただいたような気がしました。

今後、我々が各種の新規事業に参入していく中で、浜田港を経由した釜山港との物流・貿易が活用出来るようになれば、本当に素晴らしいことだと思います。



巨大な貨物船

「島根県工事成績評定要領に関する提言書」

経営研究委員会

本提言書は平成17年4月に制定された「島根県工事成績評定要領」(以下、評定要領という)に関して、施工業者の立場から検討した結果をまとめたものであり、(社)島根県建設業協会青年部会より、親会の(社)島根県建設業協会 都間会長宛に提出したものである。

提言

県内産の資材使用や下請に県内業者を選定した場合は評価して頂きたい

島根県では、島根県産資材の使用や下請に県内業者の選定を推奨しているが、評定要項にはこうしたことを評価する項目が無いように思われる。ぜひ評価項目として取り上げて頂きたい。

安全に対する様々な施策を評価して頂きたい

安全に対する取り組みは、安全パトロールやKY活動といった従来から行われているものの他に、万が一事故が発生した場合でも停滞なく事後処理を行うための様々な手段を実行するようになっている。例えば、第三者災害に対する損害保険に加入や事前による家屋調査の実施などである。これらは、発注者からの予算的裏付けはなく、施工業者の自己負担で行われている。こうした取組に対しても評価して頂きたい。

社会性に対する評価をもう少し明確にして頂きたい

評定要項では社会性についても評価を実施するとなっている。しかし、その採点項目が比較的曖昧なため、施工業者としてどういった事業活動が有効なのか判断がつきにくい状況になっていると思われる。もう少し詳細に検討頂くか、具体的事例を公表して頂きたい。

施工時の地道な工夫や取組についても評価して頂きたい

例えば低騒音型の建設機械の使用や現場条件の変化による小型機械の使用、資材などの搬入がスムーズに行かない地域での適切な資材運搬計画の実施、引渡までの製品の保護・養生を実施している、といった個々の取組に対して、評価して頂きたい。

第三者機関との折衝努力の評価ウエイトを重くして頂きたい

工事施工にあたって、関係機関や関係諸団体との連絡調整は大変重要な要素である。施工業者はこれを遂行するため設計上されていない費用を支出することも少なくない。本来ならば工事発注前に発注者が行うべきものも多々あると感じているが、やむを得ずこうした努力を施工業者が行っているのが現状と思える。評定要項では「2. 施工状況 対外関係」の欄で評価するようになっているとは思いますが、施工業者に大きな負担を与えることもあるので、さらに評価のウエイトを重くして頂けるようなシステム作りをお願いしたい。

監督員(主任監督員)の持点を現在の30%よりも多くして頂きたい

新しい評定要項では、施工体制・高度技術力・創意工夫・地域貢献といった施工過程において評価すべき項目のウエイトが高くなり、出来映え見栄えといった竣工後に評価すべき項目のウエイトが低くなっている。このため、絶えず現場を掌握している監督員(主任監督員)の評価が重要となり、その持点配分も高くして頂きたい。

評価結果の細目を通知して頂きたい

工事成績評定の結果は様式第1号「工事成績採点表」において、施工業者に通知される。この工事成績採点表は、加点・減点といった採点結果をまとめた表であり、実際どういった項目をどういった理由で評価した結果、加点・減点したまでは分からない。施工業者として、加点・減点の具体的な理由を知り、今後の工事に役立てることは技

術力向上のために不可欠である。ぜひ、細目まで通知して頂けるシステムを作って頂きたい。すべてを公表することが難しい場合は、特に良かった点・悪かった点といった事を数点ピックアップして通知して頂きたい。

自社施工比率についても評価対象にして頂きたい

我々中小施工業者の多くは、直営の作業班(従業員)を抱えている業者が多い。一般的に、こうした直営の作業班をもつことは経費がかさみ経営的に不利な点ではあるが、緊急時・災害時に迅速に対応でき、また地域の雇用を守るといった点にも貢献している。こうした自社作業班を使ったかどうかという項目についても評価の対象として頂きたい。

配置技術者に対する評価項目をさらに細分化して頂きたい

現場に資格技術者を複数名配属した、技術士といった高い資格をもつ者を配属したなど、建設業法で定めていること以上に技術者を配置した場合は通常よりも高い評価を頂きたい。

社団法人島根県建設業協会の会員であることを評価して頂きたい

我々建設業協会は、その主な活動を協会の技術力向上や業界および地域社会の発展に努めていることには御賛同頂けると思います。ぜひとも協会会員であること自体も評価の対象として頂きたい。

ISO取得に対して評定要領でも評価して頂きたい

施工業者はISO9001の認証を取得し、自社の品質管理能力の向上を図っております。島根県におかれましては、経営審査事項の主観点で評価はされているが、加えて評定要項でも評価して頂きたい。

法令遵守項目での減点をもう少し大きくして頂きたい

不良不適格業者を明確に排除するためにも、法令遵守における減点幅をもっと大きくして頂きたい。

入札金額に見合った評定要領を数種類作って、実施して頂きたい

本評定要項は国土交通省策定のものに基づいているため、比較的大規模な工事を対象にした事細かい評定事項が含まれていると考えられます。しかし、島根県におかれては、そうした大規模な工事ばかりではなく、請負金額が数十万～数百万円といった工事も数多く実施されています。こうした工事に対しても同じ評定要項で成績判定するのは業者にとって多大な負担を与える可能性があります。小規模な工事における評定要項の作成もぜひ検討して頂きたい。

検査監の違いによる評価のバラツキを少なくするような施策を実施して頂きたい

評価というのは評価者の主観などでどうしてもバラツキがでることは仕方がないことではあります。こうしたバラツキを少なくするためにも、検査資格の創設や検査業務に関する講習会の実施といった施策を実施して頂きたい。

必要となる品質証明について、その詳細な説明をお願いしたい

「1. 施工体制 施工体制一般」において「品質証明」や「品質証明員」といった事項が記載されておりますが、その内容について現状では幾分不明確です。その説明を周知徹底して頂きたい。

出来形管理図の書き方(とくに補助線の有無)を決めて頂きたい

本評定要項により、規格値に対する出来形値のバラツキが、定まった方法によって、評価の対象となりました。こうしたことを検査時に瞬時に判定するため、さらに日々の出来形管理業務においてデータとして活用するためにも、出来形管理図の書式を統一した方がよいように思えます。御検討下さい。

平成17年度新入会員紹介

平成17年度は1名の方に入会いただきましたので、ご紹介いたします。



内藤 圭司 S4729生
 (株)今岡興産 取締役 部長

高校卒業後、出雲市内の設備会社に7年間勤務した後、(株)イマジン商会に入社しました。今年からは(株)今岡興産と社名を変更して気分一心、業務拡張等を進めていき厳しい事業環境から脱却していきたくております。

同業者のみなさま方から役立つ情報を頂いて、これからの我社の運営に活かしていきたいと思っております。

まだまだ判らない事の多い若輩者の私ですが、可愛がって頂けるよう努力していきますので、今後ともよろしくお願ひ致します。

ちょっと一息

～ある日のブログより～

大願成就のホルモン煮!!
 2006年2月某日 -東京・築地編-



自他共に認める当部会きっての食いしん坊Q氏のブログからおススメ情報!

今日は東京出張でありました。用事は昼からということで、今日も定番の築地に立ち寄り、ちょっと早い昼食を取ります。われわれのお目当ては、以前にもこのブログで紹介いたしました“ホルモン煮”。二人とも『今日こそは!』との意気込みを胸に、このお店“きつねや”に到着でありました。(なぜそうなのかは12月2日のアーカイブをご覧ください。われわれの思いがお分かりいただけることであらう。)...相変わらず、店の前には行列であります。...しかし、以前の苦い経験もあって、今回は考えるまもなく最後尾に並びます。

飴色に煮込まれ、グツグツと気泡をあげ大鍋からは、何ともいえぬ香りが漂ってきます。うーん、たまりましたーん! お腹はグー、口の中は...ゴックン...大洪水であります。

やっと回ってきた順番に迷うことなく“ホルモン煮(550円)”を注文であります。

赤銅色(しゃくどういろ)に煮込まれたホルモンと刻みネギの彩りは、完成された芸術品にも勝る存在感であります。立ち上がる湯気がさらに食欲をそそります。...呼吸を整え...ブルン!と震えるそれを、口の中にゆっくりと納めると...われわれの感動はもう絶頂の極みでありました。

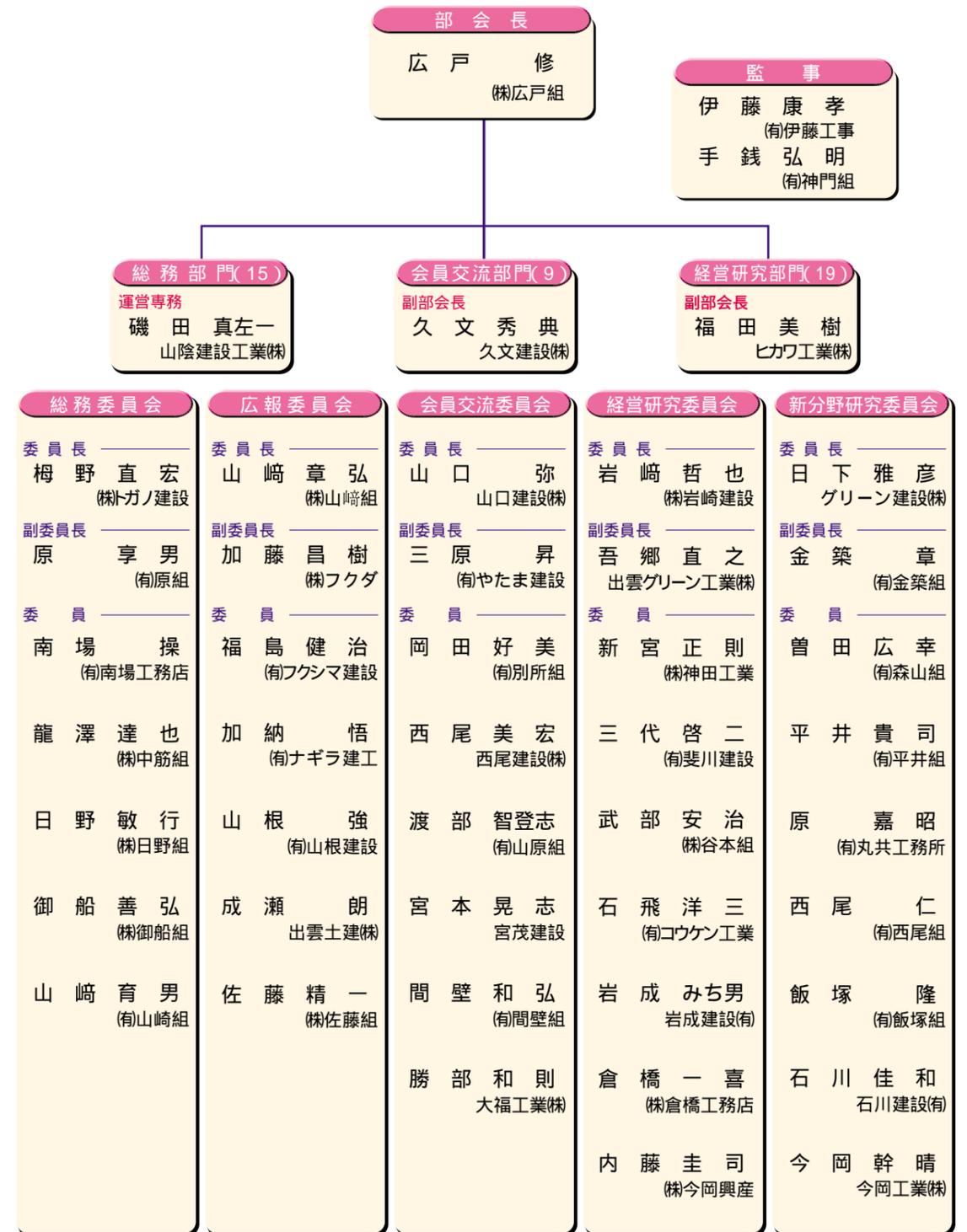
...想像していたお味とはちょっと違います。ホルモン独特の臭みを抑えるために、強烈に甘辛く味付けが施されていると思っておりましたが、さにあらず。

噛み締めるごとにジュ〜ワンと融けてゆくホルモンの旨味は、しょう油と味噌をベースとした柔らかな塩気と深みによって絶妙のお味を引き出され、煮込まれたビーフシチューのごときマイルドな風合いを漂わせております...。うーん、絶句でありました。大願成就!!

隣のお嬢ちゃん、このホルモン煮と牛丼を注文し、牛丼の上っ面を平らげたあとで、ホルモン煮をぶっ掛けて食べております。うーん、これも、美味そう!(以前ご紹介した“合いがけ丼”とは違い大いに期待が持てそうです。)

行列に偽り無し! 築地の“きつねや”は超おすすめの銘店でありました。はい!!

平成17年度 (社)島根県建設業協会出雲支部青年部会 組織図



編集後記

平成17年は、2市4町での市町村合併により、新しい出雲市が誕生した合併元年でありました。この合併は、行政のスリム化が最大の目的とされていましたが、果たしてどうだったのだろうか。一年を終わって、検証すべきところは多々あるように思われます。いずれにしても、この合併は、新しい出雲市が旧各地区の地域較差のない、いい合併だったと将来言われる様に期待をするものであります。

世の中では、既に景気が回復し、上昇傾向にあると報道されています。この片田舎の出雲市でどこを向いたら、そういう風に思えるのか不思議な感じがします。IT関連業等の特定の業種や人口集中している一部の都会にだけ、通用していることではないでしょうか。このままでは、業種間格差や地域格差がますます生じてくるように思えます。現在の国の施策は、戦後から今日まで、この日本経済を成長させてきた中小企業の歴史と存在を無視し、一部の莫大な利権に踊らされているように感じられます。ライブドアの証券取引違反事件等は、その象徴であると思えます。

我々の建設業界でも、大手ゼネコンの橋梁談合事件、防衛施設庁の官製談合事件やマンションの耐震強度偽装事件等、日本中に激震が走るような事件が数多く起こりました。これらは建設業に携わる人間としての道理や誇りを忘れた事件であり、且つ、現在の官僚が支配する腐敗した社会構造がもたらした事件であると思えます。まさに、退廃と偽善の時代であると言え、その行く末に大きな不安を抱くものであります。

また、我々の身近なところにおいても、誰でも建設業許可が簡単に取得でき、誰でも入札指名に簡単に参加できる。モラルや安全や先進技術研究等よりも、社会的公平性などと言われるうわべだけの偽善が優先される、そういう状況であるように思えます。元来、建設業協会という公益的な組織は、モラルや安全や先進技術研究等に対し特化した組織であります。今こそ、この建設業協会の特徴を再度理解し、我々の力が十分発揮できるように、更に進化する時ではないでしょうか。我々青年部も、若い大いなる体力と少しの頭脳でこの時代の一翼に少しでも貢献したいと考えています。また次年度は、新部会長のもとで心機一転、全員の力を併せてがんばりましょう。

最後になりますが、今回ご寄稿いただきました皆様のご協力に感謝を申し上げます。また、本年度を最後にご卒業なさいます、広戸部会長をはじめとする卒業生の皆様には、長年の御労苦に対し敬意を表する次第であります。ありがとうございました。

広報委員長 山崎章弘